

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会会報

全溶連

令和5年4月 第204号 www.zenyoren.com/

- 全溶連 みんなで創ろう 新たな未来
- 新時代 つないでいこう 保安意識



コダナリエ イルミネーション

写真提供：宮城県観光プロモーション推進室

東日本大震災の翌年より「コダナリエ」というイルミネーションイベントが、毎年冬に宮城県山元町で開催されています。小規模ですが「心の復興」を願い、訪れた方を笑顔に、という想いをこめて地域の方が手作りで届ける暖かみあふれる空間です。

2023年度第二回評議員会開催	2	第80回全溶連大会 2023九州のご案内	13
報告事項	5	賛助会員の広場	
委員会報告	10	(株式会社千代田精機／日鉄溶接工業株式会社)	14
第2回 全溶連川柳 優秀賞のご案内	12	お知らせ (全溶連賠償責任保険制度のご案内)	15
単位組合紹介 (宮城県高圧ガス保安協会)	13		

2022年度第二回評議員会開催

2022年度第二回評議会が2023年2月17日（金）新大阪ワシントンホテルプラザにおいて役員35名出席のもとに開催されました。当日審議された議案は6月開催の総会に上程の予定です。



定刻、事務局より評議員会運営規程第9条に定める過半数以上の出席により、本会議は成立している旨を報告し、次いで河西副会長より開会挨拶がされた。

「新しい年に入り、新型コロナウイルス感染症が拡大したり鎮静したり繰り返しているが、まだまだ予断を許さない状況が続いている。政府は今年の春からコロナの扱いを新型インフルエンザと同等の扱いにするようだが、いずれにせよコロナの問題とウクライナの問題が世界経済に大きなマイナスの影響を与えている。

今年は少しでもマイナス要素が解消され良い年になるようお願いしている。一方、国内に目を転じてみれば、我々業界の経営環境は、原材料の高騰、人手不足等で厳しい状況におかれているが、全溶連の会員同士が一致結束してこの局面を乗り越えていく必要がある。会員各位の保安、安全を基本として、業界団体と協力しながら消費先に対する自主保安の強化・推進を図り、保安意識の高揚に取り組んでいる。現在、全国的にインフルエンザが流行して皆さんの周りにも感染して体調を崩されている方がいるのではないのでしょうか。また、今年の花粉飛散量は昨年度の2.5倍と予測され、

花粉症の方たちには辛い時期が到来しますが体調管理には十分気をつけて頂きたい。

最後に、各地域組合の状況報告が予定されており、スムーズな議事進行と有意義な会議となるよう、皆様のご協力をお願いして、私の挨拶としたい。」

引き続き、深尾会長が議長となり議事に入った。

第1号 議案

2022年度 事業報告(案)承認の件

事務局より議案書に基づき以下内容を報告した。

- 1.全溶連の環境（内容朗読）
- 2.全溶連の事業活動の状況（内容朗読）
- 3.一般庶務事項（記載通り）
- 4.委員会活動の状況

各委員会の開催状況を報告した。

- 5.総会及び役員会における審議事項（記載通り）
- 6.会員数の推移

①2022年10月1日：1,355社

②比▲4社、③比▲10社

②2022年4月1日：1,359社

③2021年10月1日：1,365社

7. 慶弔

慶事は記載通り、物故者については後日調査後報告とする。

以上事業報告は承認された。

第2号
議案2022年度決算見込み(案)
承認の件

柳川財務委員長から2022年度決算見込(案)について報告した。

2022年度 収支決算書(見込案) 要旨

(収入の部)

単位:千円

科目	予算	決算(見込)	備考
1基本収入	25,880	25,880	±0 正会員 1,355社 賛助会員39社
2事業収入	15,332	14,827	-505
(保安事業関係)	8,430	8,150	-280 コロナ感染の影響により周知文書の頒布減少
(共済事業関係)	6,902	6,677	-225 大口の脱退影響を受け制度運営費が減少
3事業外収入	1,750	1,750	±0 利息、パンフレット封入代、損保広告掲載料他
4前年度繰越金	16,944	16,944	
総合計	59,906	59,401	

(支出の部)

単位:千円

科目	予算	決算(見込)	備考
1.事業費	5,155	4,297	-858 販売に応じた原価
2.販売費及び一般管理費	36,142	35,832	-310
(人件費)	17,750	17,150	-600 社会保険・労働保険事業主負担分減少
(会議費)	2,500	2,860	+360 保安w、経済w、保安対策連絡会議開催
(その他事業費)	6,150	5,470	-680 各委員会の出席者減による旅費負担が減少
(諸経費)	9,742	10,352	+610 インボイス会計対応ソフト導入費
3.営業外費用	1,370	2,080	+710
(総会・大会準備金)	1,000	1,500	+500 2023年開催九州大会準備金
(棚卸資産除却)	300	500	+200 周知文書減耗処理
(事業税)	70	80	+10
4.次年度繰越金	17,239	17,192	見込利益 248千円(予算利益 295千円)
総合計	59,906	59,401	

次年度繰越金は17,192千円となることから全額次年度繰越金とすることが提案され承認された。

第3号
議案2023年度事業計画(案)
承認の件

関口事務局長より、昨日開催された総務委員会及び常任評議員会で決定された13項目の事業計画案が提案された。

- 1.高圧ガス保安法及び関連法規の周知徹底とその遵守
- 2.高圧ガス保安法に基づく「周知義務」の履行と徹底
- 3.主官庁との密接な連絡・関係法令の答申並びに伝達指導

- 4.自主保安活動並びに消費者への保安対策の強化・推進
- 5.関連業界及び団体との共同事業の推進
- 6.高圧ガス停滞容器全国一斉特別回収の継続実施
- 7.高圧ガス不明容器処理の対策・推進
- 8.組織の整備・拡充強化と会員増強努力
- 9.福祉共済制度・団体定期保険(キャンペーン)及び傷害補償、医療補償、GLTDの拡充並びに賠償責任保険制度の普及
- 10.会報誌の発行、各種保安文書・資料の頒布
- 11.第80回全溶連大会(九州)の開催および第81回全溶連総会(大阪)の準備

- 12.「高圧ガス溶材企業年金基金」の拡充
- 13.SDGsの活動の展開

以上、2023年度の事業計画(案)は承認された。

**第4号
議案**

**2023年度収支予算(案)
承認の件**

柳川財務委員長より2023年度予算(案)について提案された。

2023年度予算(案)要旨

(収入の部)

単位:千円

科 目	2022年度見込	2023年度予算	備 考
1.基本収入	25,880	25,880	±0 正会員 1,355社 賛助会員 39社
2.事業収入	14,827	15,449	+622
(保安事業関係)	8,150	8,940	+790 周知文書・保安文書の値上による増額
(共済事業関係)	6,677	6,509	-168 加入者減少に伴う減少
3.事業外収入	1,750	1,750	±0 受取利息、産報広告料、損保広告掲載料他
4.前年度繰越金	16,944	17,192	
総合計	59,401	60,271	

(支出の部)

単位:千円

科 目	2022年度見込	2023年度予算	備 考
1.事業費	4,297	5,110	+813 販売に応じた原価
2.販売費及び一般管理費	35,832	36,582	+750
(人件費)	17,150	16,950	-200 社会保険・労働保険事業主負担分減少
(会議費)	2,860	3,100	+240 理事会・評議委員会合同会議開催
(その他事業費)	5,470	6,270	+800 SDGs 活動費用
(諸経費)	10,352	10,262	-90 会計、販売ソフトサポート費用
3.営業外費用	2,080	1,380	-700
(総会・大会準備金)	1,500	1,000	-500 次回開催大会準備金
(棚卸資産除却)	500	300	-200 周知文書減耗処理
(事業税)	80	80	
4.次年度繰越金	17,192	17,199	2023年度予算利益 7千円
総合計	59,401	60,271	

以上2023年度収支予算(案)は承認された。

**第5号
議案**

**第80回全溶連大会における全溶連
会長表彰(業界功労者)推薦枠の件**

2022年10月1日時点の15地区の事業所数を基に人数を割り振り26名の候補者推薦枠を設けた。

後日、推薦枠人数に対応する推薦をお願いしたい。

表彰者には全溶連大会式典において表彰状及び記念品授与を行う。以上、第80回全溶連大会における全溶連会長表彰(業界功労者)推薦枠について承認された。

**第6号
議案**

**理事・監事・代議員・評議員改選に
伴う推薦枠並びに役員構成の件**

・理事・監事については定款に基づき任期は2年と定められており、代議員の中から選出することが規定されていることから本年6月の総会において審議を図ることとしている。

・代議員の枠数については、2022年10月1日現在の各単位組合の事業所数に応じた推薦枠を設定しており、規定を基に推薦枠を設定した結果、推薦枠は153人となった。

以上、理事・監事・代議員・評議員改選に伴う推薦並びに役員構成について承認された。

第7号
議案第80回全溶連大会宣言文承認ならびに大会準備
状況の件および第81回全溶連総会に関する件

関口事務局長より、第80回全溶連大会宣言文承認ならびに大会準備状況および第81回全溶連総会の開催に関する事項について提案された。

1) 第80回全溶連大会宣言文について

九州組合より86名の作品応募があり以下のスローガンに決定した。九州大会において宣言文を披露し、同宣言文は2年間使用することになる。

全溶連：全溶連 現場を守り 80年

(濱田陽介：㈱朝日酸素商会)

保安：重ねよう 細かな確認 自主保安

(矢川泰子：林酸素㈱)

2) 第80回全溶連大会開催について

1.開催日 2023年6月8日(木)、9日(金)

2.会場 ホテル日航福岡 JR博多駅より徒歩3分、福岡空港から地下鉄で5分、タクシーで15分

3.参加予定人数 250名～300名 来賓10名

4.①オプションル観光

バス日帰り 柳川川下り、太宰府天満宮参拝

②オプションルゴルフ

12組予定(福岡カンツリークラブ)

3) 第81回全溶連総会開催について

①総会開催日 2024年6月7日(金)

②開催場所 ホテル大阪ガーデンパレス(新大阪)

③参加費(懇親会費)として8,000円/人

第7号議案第80回全溶連大会及び第81回全溶連総会の開催について承認された。

報告事項

各委員会報告

総務委員会(関口事務局長より報告)

総務委員会の活動は第3号、5号、6号、7号議案の通りである。

財務委員会(柳川委員長)

財務委員会の活動は第2号、第4号議案の通りである。

組織委員会(大島委員長)

組織委員会の活動は組織の整備・拡充、会員増強に向けて活動しているが、昨年度に引き続き「企業の統合・合併や廃業」といった理由により2022年度も会員数が減少し続けている。

2021年10月の会員数は、1,365社で2022年10月には1,355社と、1年間で10社の減少となり減少に歯止めがかかっていない。正会員が減少している中、組織委員会としては賛助会員の加入増強に注力しており、今後も全溶連の加入メリットをアピールし、加入の働きかけに取り組む所存である。

経済委員会(廣瀬副委員長)

経済委員会の活動は、長年取り組んでいる商慣行改善運動について、保安契約の推進の取組強化、容器供給において、容器の所有形態別に個別の契約確認事項を定め保安に関する契約書の締結

が重要である。

本年度の鳥インフルエンザの発生については、全国70ヶ所を超える養鶏場から1,200万羽を超え過去最多となっている。炭酸ガス供給側と行政側との協力により取り組んでいるところである。

2023年度の活動方針の中に新たな活動としてSDGsへの取り組みを経済委員会を中心となり、保安委員会の協力のもと取り組むことが決定した。本年6月に開催される全溶連大会九州にて宣言するが、これを契機としてガス業界でSDGsに取り組んでいる姿勢が発信できる機会になればと思っている。

保安委員会(大岡委員長)

保安委員会の活動について、昨年の経済委員会と全溶連におけるSDGs活動が始まることを想定し、11月の会議にて委員会が取り組む具体的なアクションを解説し、委員全員に理解と協力を求めた。

他にも全溶連保安文書を継続的に改訂していくシステムの構築手段について説明を行った。

昨年、保安法は大きな改正が行われ、その目玉としてドローンやAIなどの最先端技術を利用したアプリをスマートフォンに取り入れるというものがあるが、保安委員会も使用できるものは積極的に取り入れることで考えている。

厚生委員会(上野副委員長)

厚生委員会の活動は福祉共済制度の拡充ということで、団体定期保険、傷害補償、医療補償、GLTDの拡充を中に活動していく。団体保険はキャンペーン第8弾として2021年10月1日から2023年3月31日までの期間にて「ポイントゲット・キャンペーンPART3」を行っている。このキャンペーンは前回のポイント加算基準を見直し、上位5組合を全溶連大会にて表彰する。

福祉共済制度の制度運営費は各組合の貴重な手数料収入となっており、1月の定期募集以外の月でも随時加入が可能なので、今後とも皆様のご支援、ご協力を願いたい。

広報委員会(関口事務局長)

広報委員会の活動は会報誌を年4回発行しており、特集記事(新春座談会・大会開催)の作成を行っており、今年度も第13回の写真コンテストを行い、応募総数13名・26作品の中から広報委員会で厳正な審査の結果、北陸組合の前田さんの作品「朝もやの砺波平野」が最優秀作品として選ばれ1月号の表紙に掲載した。

賛助会員については、少しでもお役に立てるよう会報誌の「賛助会員の広場」に会社広告を無償で紹介しており、既に3巡目に入った。皆さんに見て頂き、読んで頂く会報誌を目指していく。

全溶連のホームページについては、リニューアルして2年目を迎えたが、お気づきの点がありましたら何なりと指摘、要望を寄せて頂き、出来る限り要望に沿った改定をして参りたい。

各地区報告

各地区組合から地域報告を頂きましたが、紙面の関係で要点のみ掲載させていただきます。

詳しい内容は全溶連ホームページ評議員議事録を参照願います。

青森(葛西評議員)

コロナ禍の影響により観光インバウンドは非常に閉塞している。原子力産業関連事業は、大間の案件が工事中止の状態です。今後10年以上を要すると思われる。東通原発に関しては、宮城女川原発の稼働後に着手することになっているが、来年より1号機が着手される見通しである。鉄骨関係に関しては、H・Mグレードの企業は東京近郊を主体とした工事量が潤沢である。

鳥インフルエンザに関しては、昨年3件発生し、10万羽クラスが2件、12月139万羽の大量発生があった。自衛隊の協力により10日間で対処したが、県所有のボンベは130本と少なかったため、日本液炭の協力を得て収束することができた。

今回の事を教訓に県畜産課としては最低でも炭酸ガス容器300本の備蓄が必要であるとの認識を頂き容器の整備と共に所有本数を増加することになった。

宮城(全溶連小川事務局)

仙台県北部に関して、半導体不足により自動車関連企業の稼働率は低調で、事業再構築補助金などで設備投資に取り組む企業が増えている。

沿岸部・気仙沼・塩釜・石巻方面の水産関連は漁獲量が低迷し、水産物加工業も不振が続いている。紙パルプ製造関連はペーパーレス化が加速している中、関連する機械関係は解体撤去され、地域経済に及ぼす影響は深刻である。建築土木関連は大震災の復興工事完了に伴い、地元建設業界の経営環境の厳しさが増している。また、造船(漁船)は、一定量を確保しているものの鋼材等の値上がりでより厳しい状況にある。

鳥インフルエンザ発症の対応は、戦々恐々の状況ではあるが県保安協会と畜産課との連携がスムーズに行われており、万全の体制である。

兵庫(大岡評議員)

兵庫県はコロナ感染症発症以前、年間の活動として9月10月には県下7ヶ所で座学中心の消費者講習会や燃料ガスの消火訓練を伴う体験型消費者法の講習会を計8ヶ所で例年800人余りの受講者を集めてきた。組合員向けにバスで移動する工場見学を主体とした研修、あるいは3月に販売支援者研修会を開催、そして年に一、二回、消費者向け保安情報誌の発刊を毎年行ってきた。

また、6月の総会および懇親会、1月の新春賀詞交歓会も行ってきたが2020年、21年は殆ど事業が満足に行えずにいたが、22年9月より開始した消費者講習会を県下7ヶ所でコロナ前と同じ形で行い、続いて体験型の保安講習会も行ったが、65%ぐらいの参加者であった。

茨城(柳川評議員)

高圧ガス容器全国一斉特別回収運動については、特別枠補助金を活用し、アセチレン容器33本を処理した。一般高圧ガス消費者保安講習会については、未開催が続いていたが、去年は鹿島地区と土

浦地区で、人数を制限して実施した。高圧ガスの安全な取り扱い方という題目で鹿島地区では鈴木商館の講師を招聘、土浦地区では大陽日酸の講師を招聘し溶材商への講習会を開催した。一般ガス周知文書の頒布については、溶接・切断については3,480部、燃料用石油関係の部数は460部を頒布した。茨城県全体では、養鶏、洋蘭の出荷数が日本一であるが、現在鳥インフルエンザにかき回されている状態である。

群馬 (折茂評議員)

群馬県は今まで鳥インフルの発生がなかったが、1月1日に1万3000羽余の鳥インフルが発生し、間髪入れず1月19日に44万羽余の鳥インフルが発生した。初回の供給本数は30本、第2例目は、615本の供給を依頼された。当県では今までに発生した経験がなく事の重大さを理解していなかったが、他県の報告を聞き限り県側に炭酸ガス容器を所有して頂くことが必至であるとの発言を肝に銘じ、当組合としても県に備蓄いただくよう話を進めていく。今年度は、ようやく消費者事業者講習会が行われた。例年は200名程度の規模で保安講習会を行っていたが、コロナの影響もあり約半分の100名での開催となった。

埼玉 (小宮評議員)

鳥インフル関係は、昨年12月に2回ほど、養鶏場で鳥インフルエンザが発生している。以降は野鳥での発症はあるようだが養鶏場での発生はない状況です。これに関連して、県の畜産安全課と鳥インフルエンザについて協議しているが、県の要請として、鳥インフルエンザの即時対応ができるように20本、30本を取り置き、保管料を払ってでも確保して欲しいとの話が出ている。保安講習会の状況は、昨年より、LPガスの団体、バスの運送会社と共催で配送担当者を招いての保安講習会を行っている。去年、東名高速において大事故が発生したことを受け、再教育する必要性を感じ、保安講習会、配送担当者向けの講習会を行っている。

東京 (戸谷事務局長)

高圧ガスの消費者保安講習会を3年ぶりに昨年の10月5日に行うことができた。講習会は都庁環境局、都の高圧ガス保安協会と3組織共催で年に1回開催しており、今回で28回を数えることになった。参加者は144名で都民ホールにて行った。

3年ぶりに賀詞交歓会を1月19日にアジュール

竹芝において来賓、協賛会社、組合員を招き、着座方式で、115名の参加を頂いた。東京都からの報告として、危険物の移動車両の指導取り締まりにおいて令和4年度の点検、取り締まりの台数は13台で、違反車両のうち3台で転倒防止の措置が全くなく、例年にない違反であるとお叱りを受けた。他の違反としては、イエローカードの不備、点検表の不携帯、工具の不足という報告を受けた。

神奈川 (佐波評議員)

2023年1月の神奈川の経済情勢は供給面で制約の影響が見られるものの持ち直している。神奈川県は横浜港を抱えていることから貿易動向は、1月の輸出が対前年同月比12%増、1月としては過去2番目の水準であり2、3ヶ月連続増加との事である。輸入は対前年同月比27%増、1月としては過去7番目の水準。しかし、経済赤字は過去2番目の赤字幅となってしまう新たな問題が起きそうである。高圧ガス事故については、10月にアセチレン容器移動時に結束不備により荷崩れを起こし、さらにアオリの固定ミスにより路上にアセチレン容器を24本散乱させる事故があった。

第50回高圧ガス地震防災緊急措置訓練を10月10日に横浜耐震バースにおいて開催した。

山梨 (河内評議員)

最近富士山周辺もインバウンド関連の観光客が増え県全体の景況も、緩やかな景気回復傾向にある。一昨年8月に全線開通した中部横断自動車道により、商工業の新しい動きとして大型物流倉庫や大型商業施設の建設が進んでいる。

業界関連では、特に半導体関連企業が好調で、生産力強化の設備投資が活発で、パワー半導体の新工場建設や新ラインの増設が進んでいる。今年7月に県知事選挙が行われ現職知事が当選したことから公共工事の受発注も堅調に推移すると予想されている。懸念材料としては、県内人口の減少に歯止めがかからず、今年2月には全県で80万人を切ることが予想されており、我々溶材業者を含め各企業は労働力の確保、特に若年層の雇用が今後の大きな課題となってきている。

現在は鳥インフルエンザの発生事例はないが、県畜産課と基本契約を結び県と組合で130本の炭酸容器を準備しており、緊急時に対応できる体制は整備されている。

静岡 (仲田評議員)

支部単位の市況の報告としては、全体的に鉄骨

関係の動きは良くなっているが自動車関連と製缶関連が思う様に進んでいない。3月によく理事会を開催した。現在組合として一番力を入れよう思っているのが、容器指針の容器返却の危険についてだが、静岡の場合まだ決まっていない。残ガスは、消費者のものではないかとの議論があり県との打ち合わせがうまく進んでなかったが、ここに来て、水害や防災について県側と会合するにあたり少しずつ協力して頂けるような気配が見えてきたことから議論を進めようと思っている。鳥インフルエンザについて報告はないが、県の方と訓練を行い少しずつ県とのやり取りを始めているところである。

長野(代理宮原氏)

インバウンド関係で特にウインタースポーツを中心として欧米系の外国人をみかけるケースが増えてきた。昨年3月で当協会は設立50周年を迎えたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により総会は3年に亘り書面決議となり、記念大会が開催できずにいたが12月2日、長野市内のホテルにて感染対策を徹底した中で記念式典を開催した。当協会の野口副会長が述べた記念事業として、県内の看護師養成所16ヶ所に調整器一体型の医療用酸素500L容器と容器運搬車を18セット寄贈した。

今シーズン当県での鳥インフルエンザの発生はないが、システムの管理者である県西部の方では防疫演習で送信テストをして、未読既読判定機能を使い情報伝達の時間検証なども行っている。

新潟(山崎評議員)

昨年の4月から1月までの出荷状況は、溶材が2%のプラス、ガスで4%プラスとなっており、景況的には悪くないように感じている。現在の状況は、新潟東港工業地帯でバイオマス発電所が計画され、現在基礎工事が終わり3月から建設工事に着手することになっている。そのプロジェクトとしては見込めるが、市況の現状としては鋼材や資材はここ2年程、値上基調であり見積案件は足踏み状態になっている。

鳥インフルエンザですが、新潟は3か所で154万3000羽が発症し、炭酸ガスの使用本数は2,168本であった。一番多く発症したところは約130万羽であったが、自衛隊に協力を得て、約2週間で殺処分を完了した。県側には、毎年インフルエンザが発生するたびに我々の容器ばかりあてにされても困るということも強く主張していく。

東海(松原評議員)

今年度、5月6日に東海3県の各組合および東高連において3年ぶりの通常総会を開催し、消費者、事業者、販売事業所、運送従事者を対象とした保安講習会も同様に開催することができた。当地域の経済状況は非常に厳しい状況が続いている。毎年10月より1ヶ月に渡って実施される高圧ガス全国一斉取締り回収運動において4,781本を回収し、高圧ガスの事故発生防止に努めている。なお恒例の危険物輸送車両全国一斉取り締まりが予定された矢先の9月28日早朝に伊勢湾岸自動車道八幡JCT付近にてLPの輸送車両が荷崩れを起こし散乱容器が爆発炎上し、車両3台が延焼、1名が死亡する痛ましい事故が発生したが、この事故を契機に全会員に対してより一層の注意喚起を行った。最後に昨年12月5日、11年ぶりに愛知県豊橋市で鳥インフルエンザが発生し、地元会員が炭酸ガスを緊急納入し31万羽の殺処分を行った。

北陸(東狐評議員)

北陸は新幹線に頼っているところがあり、新幹線の延伸は最終的に大阪までだが、2024年の春には敦賀まで開通する。富山起点で考えると東京も名古屋も大阪も2時間で移動できることから非常に期待しているところである。

鳥インフルエンザは、北陸においては発生していないが野鳥のインフルエンザは現在までに7件確認されている。北陸組合としてもタッグを組んで、各会社にサイフォン容器を準備すると共に連絡体制をとり、緊急時に対応していこうと考えている。産業別では、どの業種もほぼコロナ前の水準に戻っている。今年の4月に、電力が上がるというニュースの中で、お客に理解していただけるよう交渉していこうと考えている。

京都(西田評議員)

まず北部では、舞鶴にある大手造船会社が2021年に新造船の建造事業から撤退したことにより、下請企業も含めガス溶材の減少が起こっている。

関西電力の高浜原発は、再稼働に伴う保守などの仕事量が増加しているようである。

京都府の南部は、コロナ禍でも半導体製造装置や軽量包装機メーカーの薄板板金加工業を下請する中小企業が多く仕事量が減ることはなく忙しかったようである。昨年11月に消費者安全講習会を3年ぶりに開催することができたが、参加者は例年よりも半分以下になってしまった。

奈良（植野評議員）

この春以降はコロナ前の状況に戻して行事を進めていきたいと思っている。2年前のゴールデンウィーク明けに、県内の水道局の跡地の掘削工事において、毒ガス容器が出土し容器からガス漏洩が発生し大変な事故となった。この対応について、奈良県および奈良県警の方から、対応についてアドバイスを頂きたいとの連絡要請があり、JIMGAと一緒に対応した経緯があった。このような事故も、どのような理由であるかは分からないが、放置容器、長期停滞容器、あるいは所有者不明容器等が放置されて、地中に埋められてこのようなことになってしまったという経緯なので今後も放置容器や長期停滞容器を早急に引き上げるという活動を地道にやっていく必要があると実感したところである。

大阪（宮川評議員）

組合の活動状況ですが、今年度の通常総会は5月に行いその後、消費者向けの保安講習会を2回開催した。

大阪の景況感だが、製造業はエネルギー価格や資材高騰で苦境が続いている中、人手不足が大きな問題である。トピックとしては大阪2025年開催の大阪関西万博の準備が着々と進んでいるものの、資材高騰の影響によりパピリオン建設の入札についても不調が続いており、設計変更も含め諸々調整をしながら行うものと思っている。

梅田周辺については、国鉄時代の貨物駅として大きな土地が再開発され、改めて4万5000平米の都市公園を含んだ再開発がされ、正式名称はグラングリーン大阪という名称で決まった。来年の夏には一部開業するということであり、中心部への人流や海外の旅行者もたくさん増えるような実感をしている状況である。

和歌山（垣内評議員）

和歌山県の財務事務所の発表による経済状況は、個人消費、生産活動、雇用情勢から判断し総合的には緩やかに持ち直しているとの報告をしている。確かに個人消費は増えており企業収益も増益となっているが、これは値上げによる商品や製品の単価上昇による要因が大きいと考えられる。鳥インフルエンザについては、白浜アドベンチャーワールドに飼育されていた鳥が感染をしたが、それ以外に複数の養鶏場で感染があった。和歌山県では、販売店での対応ができず全てメーカー対

応となっている。今後は、県と協議を行い、協定などを締結する等の対応をしたいと考えている。和歌山県も遅ればせながら、高圧ガス容器新管理指針を制定した。

岡山（山本評議員）

消費者講習会を昨年10月に3年ぶりに開催した。

今シーズン初の鳥インフルエンザ発生は岡山県で10月28日に県より連絡があった。その後4ヶ所で鳥インフルエンザが発生し、73万7,000羽の鶏あるいはアヒル等の大量処分を行った。岡山県の市況は良くもなく悪くもない状況だが岡山市の都市計画が決定されたことにより再開発事業が行われることから今後、鉄骨関係が動き出すと思われる。一つは岡山駅の東口で、既に解体工事等が始まっており約1.4ヘクタールの敷地に32階建てマンションを含む住宅等が建設されるとの事である。岡山駅の西口には、36階建てのマンション、18階建てのマンションが建ち、他にも中心部にマンションで20以上の再開発を含む物件もあるようで、岡山県においてはマンションの建設ラッシュになると思われ、鉄骨関係は忙しくなってくる事を期待している。

広島（上野評議員）

広島地区は自動車関連が、中国からの部品供給の不安定な滞りなどがあるものの生産は高水準で推移しており、順調に高圧ガス材料の販売量を取り戻してきている。

呉地区は、日本製鋼呉が今年9月に閉鎖した後、三菱日立パワーシステムズの呉工場がボイラー製造の終了、大手企業の相次いだ生産終了により高圧ガス溶材の販売量は大幅に減少し、中小工場も閉鎖等が行われている。備後地区において福山は半導体不足の影響により生産が伸び悩んでいる。尾道の造船所においては新船の受注が入ってきており、徐々に販売量、生産量、ガスの販売量などは戻ってきている。今年5月に広島でサミットが開催されることから、広島県警から期間内の容器運搬や容器管理の取り扱いについて注意喚起要請があり、当協会としても放置容器や不明容器、長期停滞容器の回収に取り組む予定である。

山口（金子評議員）

3年ぶりに消費者講習会を、先般1月に3会場に分けて実施させて頂いた。

山口県の景気は、全産業で見ると忙しいという雰囲気はないが緩やかに持ち直しつつある。自動

車関連工場が防府にあるが、車種によっては繁忙である。現在、コンビナート関係で石油精製の2工場が2年先に撤退する事が決定し、撤退によって従業員300名の削減が行われる旨の報道があったが、同工場は現在稼働しているものの来年からタンクの解体工事が入り、2年先には備蓄という形態に変わる。休止したプラントは、解体工事の計画を立てて、3年後に新しい設備を建てるところが若干あると聞いているが、今は少し耐える時期であると考えている。鳥インフルエンザについては十数年前に一度大きな感染を出し、それ以降は出ていないが、県とも相談しながら対応していきたいと思っている。

九州(福田評議員)

九州の景況感で言うと経済指数、肌感からも横ばいから若干プラスという状況である。ただ各県ではかなり大きなプロジェクトを抱えており、それに対する期待感がある。具体的に福岡県では100年に一度と言われる天神地区の再開発により天神地区の状況が変わる動きがある。

長崎県ではジャパネットタカタがスタジアム構想を立てて動き始めており、新幹線の延伸決定に伴い、すでに駅舎の建設もすすんでおり、プロジェクトの好況感が出ている。

鹿児島県では馬毛島に防衛省が基地作りに7000億の費用をかけ工事を進めているが、同地区はバブル現象である。一番のビッグプロジェクトは、台湾のTSMCが熊本に工場を建設しており、10年で数兆円の経済効果があるような工事である。それに加えソニーが800億の投資をして工場を作るということで、熊本が一番バブル状態である。

鳥インフルについては例年多くても九州全県で10件程度の発生件数だが、現在23件発生している。地域的には鹿児島県が14件、宮崎県が4件、その他の県が1件ずつ発生しているという状況であるが、九州においては各県間で供給協定を締結している事から供給についてはスムーズに行われている。

以上で地区報告は終了した。

委員会報告

財務委員会

日時 2023年1月26日(木)14:00~16:00

場所 エッサム神田1号館 902会議室

出席者 河西副会長、柳川委員長、他2名、
オンライン4名、事務局2名

議題

(1)2022年度決算見込(案)について

2022年度利益見込み額 利益:248千円

(2)利益処分(案)について

当年度未処分利益:17,192千円を次年度繰越金とする。

(3)全溶連財務状況について

会員数の減少を賛助会員の増加にてカバーしているのが実態で、保安事業収入は今年度、コロナ感染拡大に伴う還元対応を取りやめ従前価格での対応をしたこともあり前年比より増収となった。保険事業収入および管理費については、前年度と同等で推移している。

今後においても保安事業収入の源泉となる保安書類等の頒布について全会員の協力をお願いしたい。

(4)2023年度予算(案)について

2023年度予算(案) 利益:7,000円

(5)その他

以上の議題を審議し、2月の理事会・評議委員会に諮ることが承認された。

組織委員会

審議内容については評議委員会の議案各号に掲載の為省略

日時 2023年2月3日(金)14:00~16:00

場所 エッサム神田1号館 902会議室

出席者 福田副会長、大島委員長、瓦井副委員長他



4名、オンライン参加4名、事務局2名

議 題

(1)2022年度組織委員会活動方針について

未加入事業所の実態を調査し、まだ単位組合の中で全溶連に加入していない会社に対して加入促進を図っていく

(2)全溶連組織の現状と会員の推移について

会員数の状況は2021年10月1日から2022年10月1日の一年間の会員数の増減は▲10社の1,355社であった。

(3)賛助会員について

・賛助会員加入状況

賛助会員数は前年同様の39社で構成されている

・賛助会員規程

賛助会員より会費の見直し要請が提出されたことを受け、規程を含めた見直しを検討することとした。

(4)その他・SDGs

全溶連の取組むことにしているSDGs宣言は、今月の2月16・17日の大阪で開催する理事会・評議員会で最終的な意見の聴取を行い、今年の6月8日に開催する全国大会で披露する予定である

以上の議題を審議し、2月の理事会・評議員会に諮ることが承認された。



厚生委員会

審議内容については評議員会の議案各号に掲載の為省略

日 時 2023年2月10日(金)14:00~16:00

場 所 エッサム神田1号館 902会議室

出席者 深尾会長、上野副委員長他7名、保険会社2名、事務局2名

議 題

(1)2023年度団体定期保険の更新並びに医療補償、障害補償、GLTDの加入状況の件



①加入更新結果について

②組合別加入状況（2023年1月1日現在）

③傷害・医療補償加入状況

④GLTD制度（長期収入サポート）について

(2)ポイントゲット・キャンペーンPART3の件 ポイント集計報告

(3)その他・SDGsの取組について

以上の議題を審議し、2月の理事会・評議員会に諮ることが承認された。

総務委員会

審議内容については評議員会の議案各号に掲載の為省略

日 時 2023年2月16日(木)13:00~14:30

場 所 新大阪ワシントンホテルプラザ
蘭・牡丹・菊の間

出席者 深尾会長、鈴木副会長、東狐委員長、川本副委員長他6名、事務局2名

議 題

(1)第80回全溶連大会・九州（博多）準備状況に関する件

第81回全溶連総会（大阪）に関する件

(2)第80回大会宣言文（案）に関する件

(3)2023年度事業計画（案）に関する件

(4)第80回全溶連大会における全溶連会長表彰（業界功労者）

(5)理事、監事、代議員、評議員改選に伴う推薦空枠の件

以上の議題を審議し、2月の理事会・評議員



会に諮ることが承認された。

経済・保安合同委員会

日時 2023年3月10日(金)14:00~16:30

場所 エッサム神田1号館 902会議室

出席者 石川副会長、佐藤委員長、大岡委員長、鈴木副委員長他5名、オンライン10名、事務局2名

議題

(1)2022年度容器処理事業(特別枠)実施状況について

(2)自主保安活動について

①保安文頒布状況

各地の頒布状況に温度差があるのもっと活用を願いたい

②2023年度周知文書(溶接溶断)について

コロナ禍の影響もあり前年度より1万部超の頒布となっている。

③2023年度周知文書(LP)について

LPに関しては溶断と比較して頒布数が少ないこともあり前年並で推移

④全国一斉容器特別回収

2022年10月1日~10月31日の間において37,375か所を訪問し回収した結果、回収本数は、36,761本、うち長期停滞容器35,648本、放置容器699本、不明容器414本であった。

(3)保安文書価格改定について

電気代、送料、印刷インク代、紙代等の値上がりが相次いでいることから4月より前年度頒布額より10%UPとするが、周知文書については1部1円の価格変更にとどめること



とした。

(4)令和4年度高圧ガス事故資料について

令和4年の消費先における事故を原因的にみると、設備の維持管理不良13件、誤操作・誤判断、不良行為等のヒューマンファクター9件、その他14件になっており、人身事故は22件発生し、死傷者は27名となっている。

(5)高圧ガス川柳応募作品について

全溶連会報誌203号に第2回高圧ガスに係る川柳を募集し、19名33作品の応募があった。

(6)全溶連賠償責任保険2023年度募集について

令和5年度の募集に関して昨年度と同様の内容で行う。募集文書発送時期は5月中旬、募集締め切り日6月中旬、保険始期日7月1日のスケジュールですすめている。

(7)SDGsの取り組みについて

全溶連の活動として、経済保安に取り組み日々活動しているが、ガス業界における全溶連の地位を高めるためにもSDGsを宣言することへの重要性を見出し全溶連におけるSDGsへの取組として11のゴールと17のターゲットを定め活動していく。

以上の議題を審議し承認された。

第二回 全溶連川柳 優秀賞のご案内

最優秀賞

鳥インフル

炭酸増えるが 卵へる

関口 武尚様(全溶連事務局)

優秀賞

ぼくだって お家に帰りたい ボンベ君

布野 泰行様(長野 宮原酸素株式会社)

いつまでも もつと思うな 鉄とガス

笹木 利直様(北陸 昭和酸素株式会社)

ひょっとして? 思う気持ちが 事故防ぐ

宮下 勝様(北陸 昭和酸素株式会社)

最優秀賞 1名・優秀賞 3名・参加賞15名 総勢19名参加33作品 ご参加ありがとうございました。

単位組合紹介

宮城県高圧ガス保安協会

所在地 〒980-0014
 宮城県仙台市青葉区本町1-13-24 錦ビル6階
 TEL:022-221-5077 FAX:022-261-5019
 会長 伊藤 武彦
 正会員 29社 賛助会員等 14社・事業所



伊藤会長

スローガン:保安こそが最大の顧客サービス

【保安への取組について】

大変残念ですが近年も酸欠に起因する死亡事故が発生しております。当協会では平成2年より消費者向けの保安講習会を開催し、のべ4,900人余りの方に受講いただいております。高圧ガスや機器のハンドリング・禁止事項などについて、わかりやすさを心がけて講習を行っております。

そのなかで一番受講者の興味をひくのは逆火実演です。会員企業と溶断器メーカーの協力を得て、酸素・アセチレンの逆火状態を一瞬ですが再現するものです。メーカーにより再現方法はさまざまですが、大きな音とアークが飛ぶ様を見た受講者に、逆火がいかに危険であるか強く印象づけています。

【災害への取組について】

2つの連絡訓練を毎年実施しております。ひとつは大規模災害（地震）における医療ガス等の供出救援訓練です。御存知の通り東日本大震災では甚大な被害が発生しました。その教訓から緊急通行車両の届出も行い、いざというときの備えも心がけています。

また、今シーズン猛威をふるう鳥インフルエンザの防疫対応訓練も実施しております。すでに昨年度から今年度にかけて併せて6例発生し、会員企業による炭酸ガスの輸送・充填を行っております。限られた時間での輸送・充填は苦戦することも多々ありますが、社会への貢献を胸に会員同士協力して対応しています。

第80回全溶連大会 2023九州

第80回全溶連大会が開催されます。

4年ぶりの大会でありますので、多数のご来場をお待ちしております。

日時：2023年6月8日(木)～6月9日(金)

場所：ホテル日航福岡
 福岡県博多区博多駅前2-18-25 TEL 092-482-1111

1日目: 総会及び大会及び懇親会

2日目: ①観光コース(オプション観光) 柳川の川下りと太宰府天満宮(観光バス利用、先着30名)
 ②ゴルフコース(オプションゴルフ) 福岡カンツリークラブ(先着48名)

賛助会員の広場

CHIYODA の新製品

リニューアル 炭酸ガス 気化器

液化炭酸ガスを強制気化させる装置です

■従来品との変更点

- ・水槽や2次側配管を腐食しにくいステンレスに変更
- ・デジタル水温計、電流計の標準装備化を実現...etc.



CVR
シリーズ

駆動用ガスの圧力で弁の開閉をする自動弁

高圧用自動弁 (エア駆動)



AOV
シリーズ

■使用例

- ・緊急遮断システムの遮断弁や、ガス供給ユニットの自動切替弁として利用ができます

分析用 小型圧力調整器

CLR シリーズ

コンパクトでスタイリッシュ!



■主な特徴

- ・材質（真鍮・ステンレス）の選択が可能
- ・様々な接続形状の継手選択が可能



株式会社 千代田精機

本社 〒653-0022 神戸市長田区東尻池町7丁目9番21号
TEL 078-681-8844 FAX 078-681-8849
支店・営業所 仙台北関東東京名古屋北陸大阪神戸西神戸広島北九州熊本

溶接の常識を変える SXワイヤ

WELDREAM

3大メリット

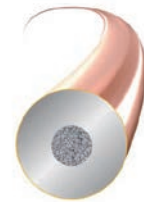
1. 省力化に最適
 - ・スパッタ除去作業が大幅に短縮
(除去作業時間75%減)
 - ・適正電圧が広く経験に左右されず健全な溶接が可能
 - ・高電流でも安定した高能率溶接が可能
2. 品質の向上
 - ・拡散性水素量が低く低温割れ防止に有利
 - ・ターゲット性に優れ自動溶接に最適
 - ・止端部が滑らかで美しいビード外観を実現
3. 作業環境の改善
 - ・アークがソフトで半自動溶接の疲労感を軽減
 - ・ヒューム発生量を大幅に低減

▶ 高品質・短工期・人材確保に貢献!
トータルコストも削減!

ソリッドワイヤに対する優位性

優れた溶接作業性

- ・低スパッタ
- ・柔軟な溶接条件範囲
- ・平滑なビード形状
- ・ソフトで安定したアーク
(溶込みの深さはソリッドワイヤと同等)



他社のFCWに対する優位性

当社独自の

低充填メタル系シームレス構造

- ・スラグが少なく連続多層溶接が可能
- ・安定したターゲット性で自動溶接にも最適
- ・吸湿がなく拡散性水素量が圧倒的に低い



NIPPON STEEL | 日鉄溶接工業株式会社

〒135-0016 東京都江東区東陽2丁目4番2号 新宮ビル TEL 03(6388)9000



全溶連賠償責任保険制度

2023年度募集のご案内

高圧ガス販売業務に伴う事故による、第三者に対しての法律上の損害賠償責任をカバーする保険です。全溶連会員企業のための、有利で加入しやすい制度です。

1. 幅広い補償

高圧ガス販売業のほかにも「工業用LPG販売業務」「電気溶接機販売業務」「電動工具／空圧工具販売業務」「エンジン・発電機販売業務」「溶接機販売業務」「医療用ガス・医療機器用ガス販売業務」を補償の対象に出来ます。

支払限度額は1億円、3億円、5億円の3種類から選べます。限度額は1年間を通じての支払限度額です。1回の事故について免責金額(自己負担額)は5万円とします。

特約についても同じとなります。

下記の専用特約が付帯されます。

全溶連特約①…借用財物、支給財物、受託財物を補償する特約です。

全溶連特約②…管理下にある財物を補償する特約です。

全溶連特約③…不良ガスにより出来上がった不良品を補償する特約です。

2. 割安な保険料

団体契約のスケールメリットにより、個別にご加入する場合と比較して、保険料が格安です。

3. 保険料の計算方法

高圧ガス販売業務等と、医療用ガス販売業務に分けて算出します。

4. 簡単な加入手続き

全溶連ホームページに掲載の活動報告に提供しております賠償責任保険計算表を利用するか、パンフレットに添付の計算表にて、簡単に保険料が計算できます。

保険料の申込票の送付(FAX)だけで、ご加入が可能です。また年の途中からでも加入が可能です。

5. 募集スケジュール

募集文書発送時期 5月中旬(全国会員宛に募集書類を発送)

募集締め切り日 6月15日

保険始期日 7月1日

詳細は **全溶連(03-5296-0430)** までお問い合わせください。

ぼくはボン兵衛くん

原作：封舘(ふうか) 作画：ひくさん

第四十一話 「正しい知識 皆が着けよう 講習会」の巻



DDITIVE MANUFACTURING アムテック

AMTECH

金属3Dプリンターのトレンドを発信

定価1,430円
(本体価格1,300円+税10%)
A4変形・60頁

[創刊号の内容] Photo Report / 話題の金属3Dプリンターでものづくり
巻頭グラビア / 金属新材料研究センターを訪ねて
最新研究レポート / 愛知産業におけるWAAM方式研究について
産業レポート / 日本ミシュランタイヤが金型で産官学連携AMプラットフォームを開所
特別レポート / 2022国際ウエルディングショーにみるAM関連技術から
ユーザー訪問 / わが社の金属3Dプリンター適用への挑戦
AM News Topic

特別企画
金属AM
機器材料ガイド
掲載

産報出版株式会社 TEL : 03-3258-6411 FAX : 03-3258-6430

2023年1月より、全溶連・福祉共済制度に「八大疾病一時金補償特約」が追加されます！

New 毎年、連合会会員特典として募集を行う全溶連・福祉共済制度に
“八大疾病を発病し、所定の要件を満たす場合に一時金をお支払いする特約”
 を「医療補償プラン」の専用オプションとして新たに追加し、より一層魅力ある
 制度となりました。是非、これを機に医療補償プランへのご加入をご検討ください！

補償の概要について

この補償は被保険者が八大疾病（がん・急性心筋梗塞・脳卒中・糖尿病・高血圧性疾患・慢性腎不全・肝硬変・慢性膵炎（注））を発病し、所定の手術や症状の診断がされた場合に一時金をお支払いするものです。

（注）糖尿病は、糖尿病性網膜症または糖尿病性壊疽と診断された場合、高血圧性疾患は、大動脈瘤解離または大動脈瘤と診断された場合をいいます。



お支払する保険金額 **一時金 100万円**

八大疾病一時金補償特約を導入した背景

「八大疾病」について

八大疾病は上記補償の概要に記載する八つの疾病です。そのうち「三大疾病」と呼ばれるがん、急性心筋梗塞、脳卒中は、日本人の死亡率の約半分を占める病気です。その「三大疾病」に加え、代表的な生活習慣病（※）である糖尿病・高血圧性疾患・慢性腎不全・肝硬変・慢性膵炎もまた罹患率の高い疾病であり、あわせて「八大疾病」と呼ばれています。

（※）生活習慣病は、食事や運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が深く関与し、それらが発症の要因となる疾患の総称です。日々気を付けていても、年令あるいは悪い生活習慣の積み重ねにより発症・進行する慢性疾患で、年々増加しています。

八大疾病一時金補償特約 対象範囲と患者数
 厚生労働省 患者調査（平成29年）

がん	179.5万人
急性心筋梗塞	4.7万人
脳卒中	97.3万人
糖尿病	328.4万人
高血圧性疾患	993.8万人
慢性腎不全	39.3万人
肝硬変	5.4万人
慢性膵炎	3.1万人

補償導入の理由

この「八大疾病」に罹患して入・通院を余儀なくされた場合、治療費、入院中の雑費、通院交通費など、さまざまな費目の出費がかかります。社会環境の変化に伴って急増している生活習慣病のリスクも補償できるため、万一八大疾病を発病した場合、**経済的な不安なく、治療に専念する環境を提供し、早期復職に向けた療養期間を過ごしていただくための補償を提供することが福利厚生制度において必要であるという考え方から導入しました。**

このご案内は概要を説明したものです。ご加入にあたっては必ずパンフレットおよび「重要事項のご説明 契約概要のご説明・注意喚起情報のご説明」をあわせてご覧ください。また、詳しくは「ご契約のおしり（普通保険約款・特約）」をご用意していますので、取扱代理店または引受保険会社までご請求ください。ご不明な点につきましては、取扱代理店または引受保険会社にお問合わせください。

団体お問合わせ先 一般社団法人全国高圧ガス溶材組合連合会 TEL03-5296-0430

取扱代理店 **株式会社星和ビジネスリンク**
 （住所）〒108-0014 東京都港区芝4-1-23
 （電話）0120-288-270
 受付時間 月曜日～金曜日 10:00～16:00
 （祝日・12/31～1/3を除く。）

引受保険会社 **あいおいニッセイ同和損害保険株式会社**
広域法人開発部営業課
 （住所）〒103-8250 東京都中央区日本橋3-5-19
 （電話）03-6734-9608

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会

（2022年10月承認）B22-102122

発行所

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会
 東京都千代田区神田北乗物町12（大竹ビル）
 Tel.03-5296-0430 Fax.03-5577-5062
<http://www.zenyoren.com/> e-mail:honbu@zenyoren.com



全溶連は、限りある地球環境の保護に積極的に取り組んでいます。この印刷物は環境保護印刷推進協議会（E3PA）の認証を受け、グリーンプリンティング認定工場で作成しました。

